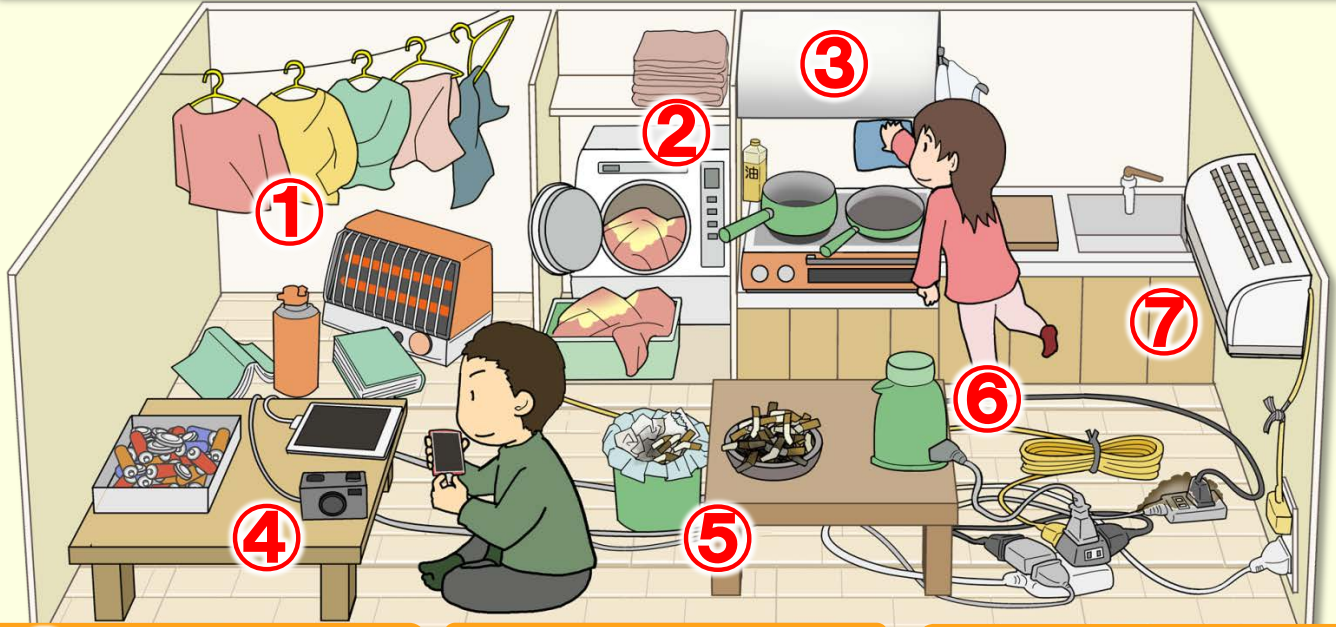




大掃除で火災予防!



火災の危険がぐっと下がる、大掃除のポイントを紹介します。
年末年始を安心して過ごしましょう!



① ストープまわり

- 燃えるものやスプレー缶はストーブから離す。
- 洗濯物をストーブの上に干さない。 熱気で洗濯物が落ち、ストーブに触れるかも。
- 去年の灯油は廃棄。 灯油が劣化すると異常燃焼の原因に。

④ 電池・バッテリー

- 電極同士を接触させない。 捨てるときは電極をビニルテープ等で保護するとよい。
- スマホなどのリチウムイオン電池やバッテリーで、強い衝撃が加わったもの、異常な発熱や見た目膨張があるものは使用しない。 過充電にも注意。

② オイル類

- 床用ワックスなどのオイルが染み込んだ布を乾燥機で乾かしたらダメ! 通気性がよく涼しいところで乾かすか水に浸して捨てる。

⑤ たばこ

- 灰皿に吸い殻を溜めない。
- ごみ箱やごみ袋に捨てるのは確実に火が消えているのを確認してから。
- 油やガスを使うときは禁煙!

⑦ エアコン

- 洗浄剤は使用上の注意を守って使う。電気部品やモーターに液がつかないように注意。

③ こんろ周り

- 着衣着火に注意。台所の掃除は火を消してから。
- 燃えるものをこんろの周囲に置かない。
- グリルやフードの油污れは取り除く。
- カセットボンベは使い切って捨てる。

⑥ 配線まわり

- コンセント部分のほこりはトラッキング火災の元! 乾いた布などで取り除く。普段掃除しない家具の裏などもチェック!
- 電気コードの被覆が破れたり、自分で切ってつないだりすると危険。家具の下敷きにならないよう注意。
- たこ足配線や、配線をたばねて使うと出火の原因に。

★ 住宅用火災警報器

- ほこりや汚れは乾いた布でふき取る。
- 新しく交換する目安は10年。

